

# 人文科学研究所研究叢書

## 27.『喪失と覚醒 19世紀後半から20世紀への英文学』

2001年3月31日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格5,300円（税別）

ISBN 4-8057-5320-X

まえがき	
<b>第一部 ヴィクトリア朝と「闇」</b>	
「近代」イギリス詩人と文化論 —M・アーノルドの場合	松本 啓
『ダニエル・デロンダ』 —二つの世界	塩谷 清人
『ファレザの浜辺』について	野呂 正
闇からの語り —「闇の奥」のアフリカ	山本 恭子
<b>第二部 サヴォイ・オペラ</b>	
ヴィクトリア朝後期の演劇の中のギルバート	塚野 千晶
ギルバートとサヴォイ・オペラと「リスペクタビリティ」	新井 潤美
ハーディとサヴォイ・オペラ	深澤 俊
<b>第三部 トマス・ハーディ</b>	
「アリシアの日記」における語りについて	永松 京子
レクイエムとしての『貴婦人の群れ』 —家系図に記されなかった男たち	小林 千春
アーサー・ヒュー・クラフからハーディへ —主題の継承と類似	森松 健介
<b>第四部 世紀の変り目から20世紀へ</b>	
『トーノ・バンゲイ』における専売薬とセクシュアリティ	糸多 郁子
E・M・フォースター	深澤 俊
科学の可能性と芸術のはざままで —オルダス・ハクスリーの思考背景を探る	戸嶋 真弓
T・S・エリオットの詩劇における覚醒 —『カクテル・パーティー』をめぐって	松本 啓
モダニスト・ウルフは、モダンなのか？	深澤 俊
『ブライズヘッド再び』再訪 —イヴリン・ウォーの小説世界における逃走する男性像を追う	戸嶋 真弓
「ただ間歇的に機能する」 —Some Do Not... における「知識」と専門知識	アンガス・P・コリンズ
“Intermittently functioning”: Knowledge and Expertise in <i>Some Do Not...</i>	Angus P. Collins
年表	
索引	